

【件名】	浜離宮恩賜庭園お伝い橋ほか修復工事（その1）その2	【事務所名】	東部公園緑地事務所	
【工事場所】	東京都中央区浜離宮庭園地内	【受注者名】	加勢造園株式会社	
【工期】	令和5年9月29日から令和6年10月17日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 橋本 潤	

【工事概要】

浜離宮恩賜庭園のお伝い橋と中島茶屋の露台について、経年による不朽が見られるため、令和5-6,6,-7の二期に分けて計画された修復工事のうち1期工事である。お伝い橋の南側と茶屋露台について、基礎を除く部材について修復を行った。

【表彰理由】（※発注者側評価）

天然木材は環境により反りや収縮等が生じやすく、取扱いの難しい材料だが、受注者は施工にあたり、材料を吟味し、木材の性質や仕口、金具遣いを詳細に検討するなど専門性を発揮し、材質や施工方法を監督員に提案して、出来栄え良く仕上げ文化財庭園の質の向上に貢献した。加えて、綿密な工程管理により当初予定よりも早期に完了させたことで、庭園の茶屋営業や秋季の夜間開園イベント開催にも貢献した。



施工前

施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

木材の性質上どうしても現場納入後に部材の反りなど変形が生じてしまうが、できるだけ現場（製品）にその影響が出ないように仕上げることに苦労した。

◇ 特に工夫した点

施工手順を工夫して有料施設（茶屋）の工事に伴う休業期間を短縮し、工事全体も早期に完了させることで、来園者への影響を出来るだけ抑えるよう努力した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

文化財庭園の中での工事、しかもその中でも主要な見所となっている施設の改修に携われたことに大きなやりがいを感じた。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

近年機械化が進んでいるが、本工事のようにまだ職人の技術力も必要です。機械仕事だけでは味わえない面白さがあるので是非それを感じてもらいたいです。



材料の選定と節の処理により耐久性を向上